『産業学会研究年報』「投稿論文」（英語論文）執筆要領（2026 年度）

産業学会編集委員会

『産業学会研究年報』では原則として日本語原稿による投稿を想定していますが，事前に編集委員会で認められれば英語論文の投稿も可能です。投稿規定は「『産業学会研究年報』「投稿論文」及び「フォーラム（投稿）」投稿規程・執筆要領（2026 年度）」に準じます。ただし、英語論文については、英文表現そのものも査読対象となりますことをご留意ください。最終的に掲載可となった場合は，英語を母語とする方のチェックを投稿者自身が依頼して受けてください。執筆者が英語を母語としている場合は，この限りではありません。

2026 年度の「投稿論文」（英語論文）執筆要領を以下のように定めます。

執筆要領

1．本文・図表について

(1) 氏名，所属，連絡先（住所，メールアドレス，電話番号），機関リポジトリ等で公開されている学位論文をもとにしている場合は学位論文表題と掲載サイト URL，必要な場合は謝辞を 1 頁目に書いてください。この頁は査読者にはわたしません。大学院生の場合，所属先としては，「XX 大学大学院博士後期課程」など「課程」まで書いてください。課程名は所属先大学の正式なものを記してください。

(2) 本文中には執筆者を推測できることは書かないでください。例えば「拙稿において」などとして過去の自著を注記するようなことはなさらないでください。自己引用をされる場合も，他人の論文と同様の形式で引用してください。助成金の名称や科研費の課題番号なども掲載決定までは記さないでください。

(3)提出原稿のページ上限は 23 頁（英単語数約 10,000 語）です。これは図表，注，参考文献込みです。図表は半頁使うものは 200 語，1 頁使うものは 400 語に換算してください。

(4) Microsoft Word 形式にて，A4 に横書き，上下左右 30 ミリの余白を取り， 30 行，フォント 10.5 ポイント。本文フォントは「Century」とします。

(5) 見出し番号は以下のようにお願いいたします。なお，「はじめに」や「おわりに」についても番号を振ってください。明朝で書いてくださっても結構ですが，印刷時にはゴシックになります。

1. Introduction

1.1 Previous Researches

1.1.1 Research questions

……

(7) 図は原則として原稿のままで製版します。縦横の比，フォントの種類・ポイント数なども，印刷時のイメージを念頭に置いて作成ください。とくにフォントのポイント数が小さくなりすぎないようにご注意ください。印刷は白黒ですので，図表の配色にはご注意ください。黄線は明瞭に出ませんし，濃すぎる図表も見にくくなります。自ら白黒で出力してご確認ください。

(8) 図表には通し番号をつけてください。図（Figure）と表（Table）は別々の番号としてください。

図のタイトルは図の下に，表のタイトルは表の上に付してください。タイトルのフォントは印刷の際に所定のものといたします。図表の出所を必ず明示してください。孫引きの場合は「原資料」と「出所」の双方を明記してください。

(9) 図表は本文中に差し込まないでください。本文の後ろにおいても，別のファイルにしてもかまいませんが，図表ファイルは１つ（エクセルブック内部でワークシートが複数なのは可）にしてください。そして，本文では図表の挿入箇所を大まかに指示してください。

２．注について

(1) 注は文末注とします。本文，注，参考文献の順序に記します。

(2) 文献引用の表記は，APA（アメリカ心理学協会）方式に倣ってください。

著者名，発行年，引用ページ番号のみを注記する場合は，本文中に入れ込んでください。Tanaka (2005, p. 45)，(Tanaka, 2005, pp. 30-32)など。

(3) 文献リストにおいて，文献名・雑誌名は二重カギカッコ，論文名は一重カギカッコでくくってください。巻号は，たとえば第 25 巻第 2 号ならば 25(2)のように書いてください。

英語文献の執筆者名はファミリーネームのみフル表記し，ファーストネームとミドルネームはイニシャルとしてください。執筆者が複数の場合，ファミリーネームを先に出してカンマを打つ操作を全員に対して行ってください。単行書のチャプター論文は“　”でくくり，雑誌名・書名，巻数はイタリックとしてください。単行書は出版場所と出版社を記載します。単行書のチャプター論文と雑誌論文は最初と最後のページ番号を記してください。雑誌名の記載は必須ですが，発行団体名は不要です。日本語を含む，英語以外の言語で書かれた論文も，文献リストでは英語表記してください。

例

Ojima, T. (1998). *Nihon no Kogyoka to Tekko Sangyo (Japanese Industrialization and the Steel Industry)*, Tokyo: Teito University Press (Japanese).

Takahashi, T. and Watanuki, S (1979). “Taiwan no Jukagakukogyoka to Chiiki togo (Heavy-chemical Industrialization in Taiwan and Regional Integration),” in Park, D. J. and Watanuki, S. eds., *Taiwan no Keizai Hatten (Economic Development of Taiwan)*, 79-113, Tokyo: Maruzen Publishing Co (Japanese).

Carlton, D. W. and Peroff, J. M. (1994). *Industrial Structure and Economic Performance*, Boston: Houghton Press.

Mowery, D. C. (1999). “The Computer Software Industry,” in Mowery, D. C. and Nelson, R. R. eds., *Sources of Industrial Leadership*, Cambridge: Cambridge University Press, 32-55.

Mansfield, E. (1988). “Industrial R&D in Japan and the United States: A Comparative Study, ” *American Economic Review*, *78*(2), 223-228.

３．入稿後の諸事項について

(1) 掲載が許可され最終的に入稿したあとの，印刷原稿の校正は執筆者にお願いいたします。校正は 2 校までです。3 校をご希望の方は，2 校返送の際に印刷所にお申し出ください。校正原稿は印刷

所から直接郵送されます。最終原稿をご提出の際に，校正ゲラの希望郵送先を編集委員会までご連絡ください。

(2) 雑誌 PDF は著者にお送りします。冊子体は会費納入と引き換えにおおくりします。抜き刷りは 50 部まで無料で差し上げます。それ以上の部数が必要な場合は自己負担になりますが，校正時に印刷所にご連絡ください。

(3) 掲載論文の財産としての著作権は産業学会に帰属します。(独)科学技術振興機構の J-STAGE にて電子版を公開するために必要な措置です。掲載原稿を出版物に収録したり，機関リポジトリを含むインターネットで公表することを希望する際は，編集委員会にお問い合わせください。なお，学位論文としての機関リポジトリでの公開は原則として了承いたします。

(4) 査読証明書の発行については，編集委員会にお申し付けください。

(5) 掲載論文の転載，機関リポジトリ収録，ウェブサイトからの公衆送信等については，編集委員会にご相談ください。

４．研究倫理と執筆要領の遵守

(1) 捏造，改竄，盗用，不適切なオーサーシップなどの研究不正が発見された原稿は，掲載することができません。編集委員会より掲載をお断りさせていただきます。

(2) 自由論題報告について優先投稿権を得た場合は，投稿原稿の内容は自由論題報告から大きく逸脱しないようにしてください。大会後の検討を経て改良を加えたり，字数上限との関係で取捨選択したりすることはかまいませんが，まったく別の内容になっている場合は，掲載をお断りさせていただくか，自由投稿論文として扱わせていただきます。

(3) その他，原稿が執筆要項から大きく逸脱している場合は，査読者の他，編集委員会により，審査の際に評価を下げる理由となります。また原稿の修正をお願いすることがあります。

編集委員会連絡先
産業学会理事　『研究年報』編集委員長
田村大樹
〒802-8577　北九州市小倉南区北方 4-2-1
北九州市立大学経済学部
093-964-4343
sisjeditor@gmail.com　（編集専用アドレス）